

2020年5月 教会行事予定表			
	曜	午 前	午 後
1	金		
2	土	掃除当番（楽山）	
3	日	運営委員会	
4	月		
5	火		
6	水		
7	木		
8	金		
9	土	ミサ10:00 掃除当番（楽山）	
10	日	集会祭儀 9:30 女性部壮年部例会	
11	月		
12	火		
13	水	OPC 10:00	
14	木		入門講座 18:00
15	金		
16	土	ミサ10:00	
17	日	ミサ9:30	
18	月		
19	火		
20	水	OPC 10:00	
21	木		入門講座 18:00
22	金		
23	土	ミサ10:00 掃除当番（楽山）	
24	日	集会祭儀9:30	
25	月		
26	火		
27	水	OPC 10:00	
28	木		入門講座 18:00
29	金		
30	土	ミサ10:00 掃除当番（楽山）	
31	日	合同ミサ10:00(伊達教会)	

新型コロナウイルスに関連して 使用される専門用語
クラスター
小規模な集団感染や、それによってできた感染者集団。北海道など各地で発生した
オーバーシュート
爆発的に感染患者が増える状況。欧州の一部地域が陥っている
ロックダウン
都市封鎖
パンデミック
世界中の人に感染する可能性がある病気が、制御不能で大規模に流行している状態

新型コロナウイルス関連の 詐欺とみられる主な手口

SMS、
電話、
メール

マスクが品薄なので特別価格で提供します

新型肺炎に下水道管が汚染されているので清掃します

新型コロナウイルスを撃退する機械をつけませんか

新型コロナウイルスの関係で支援金約3万円が出ます

要注意ポイント

- SMS、メールにURLが添付されている
- 口座番号、クレジットカード番号などを質問したり、入力を求めたりする
- 「お一人ですか」など家族構成や資産状況を尋ねる



2020
4/26

ひとつになるう

2020年4月26日
カトリック東室蘭教会広報誌
毎月第2日曜発行

カトリック東室蘭教会
CATHOLIC HIGASHIMURORAN CHURCH
〒050-0073
室蘭市宮の森町4-9-7
0143-44-3851

新型コロナウイルス感染拡大のただ中で 日本カトリック司教協議会会長 談話

新型コロナウイルスの世界的な感染拡大を目の当たりにして、日本のカトリック教会の皆様といくつかのことを共有したいと思います。

1. 神に祈る
新型コロナウイルスは、2002年のサーズ（SARS）や2012年のマーズ（MERS）とは比較にならない、世界的な感染拡大と死の脅威をもたらしています。わたしたちは、感染者、亡くなられた方々、医療従事者、為政者、経済的に大きな打撃を受けた方々など、すべての人々に必要な助けと力が与えられるよう、主キリストを通して父である神に祈りと願いをささげましょう。司教団が認可した「新型コロナウイルス感染症に苦しむ世界のための祈り」をご紹介します。

いつくしみ深い神よ、
新型コロナウイルスの感染拡大によって、
今、大きな困難の中にある世界を顧みてください。
病に苦しむ人に必要な医療が施され、
感染の終息に向けて取り組むすべての人、
医療従事者、病者に寄り添う人の健康が守られますように。
亡くなった人が永遠のみ国に迎え入れられ、
尽きることのない安らぎに満たされますように。
不安と混乱に直面しているすべての人に、
支援の手が差し伸べられますように。
希望の源である神よ、
わたしたちが感染拡大を防ぐための犠牲を惜しまず、
世界のすべての人と助け合って、
この危機を乗り越えることができるようお導きください。
わたしたちの主イエス・キリストによって。
アーメン。

希望と慰めのよりどころである聖マリア、
苦難のうちにあるわたしたちのために祈りください。
（2020年4月3日 日本カトリック司教協議会認可）

2. 人間の偉大さと脆(もろ)さを再認識し、神への信頼を新たにする
人類は与えられた知恵を駆使して、科学技術、中でも医学を発達させてきました。しかし今、世界中の人々がウイルスの脅威におびえ、感染防止と一日も早い終息に向けて悪戦苦闘しています。人との交流や集まりが制限されていることで、わたしたち自身も含め多くの人々がストレスを抱え、仕事や日常生活に多大な悪影響を及ぼしています。

わたしたち人間は神に愛され、神にかたどって創造され、神から地上のものをすべて治める使命を与えられ、神に見守られています1)。しかしその人間は、塵、野の草、息や影のような存在でもあります2)。だからこそ、わたしたちは、キリストを離れるなら何もできないということをとて、何ものをも恐れず、いたすら神に信頼を置き、救いへの希望を持ち続けたいと思います3)。

3. 信仰生活を見つめ直す
新型コロナウイルスの感染拡大の予防と阻止のために種々の分野の活動が制約されて不自由な生活を余儀なくされていますが、そのような中で多くの人たちが家庭生活、人間関係や自然との関係について新しい気づきや発見をしていることは注目に値することだと思います。

信仰生活について言えば、主日のミサが中止になることで、あらためて主日のミサの意味を考え、ありがたさを噛みしめている方もおられるのではないのでしょうか。実際、「日曜日は週ごとに巡ってくる復活祭であり、キリストが罪と死に打ち勝ったこと、キリストにおいて第一の創造が完成したこと、そして『新しい創造が始まったこと』（二コリント5・17参照）が祝われます。この日は、感謝に満ちた礼拝（ミサ）を行って、世界が造られた最初の日を思い起こす日です。また、キリストが栄光のうちに来られ（使徒言行録1・11; 一テサロニケ4・13～17参照）、すべてのものが新しく

される（黙示録21・5参照）『終わりの日』を、熱烈な希望をもって待ち望む日です」4)。主の日に感謝の祭儀に参加して、神のことばを聴き、キリストの死と復活の出来事を追体験し、その恵みとしてキリストご自身をいただくことは、キリスト信者として神の恵みへの当然の応えであり、この上ない幸せなことなのです。しかしミサには不特定多数の人が参加するので、中止あるいは制限付きとなっても、神のみ旨を探し求めつつ受け入れなければなりません。

他方、感謝の祭儀で出会うキリストは、わたしたちが皆キリストを中心につながっていることを思い起こさせ、ご自分と同じようにわたしたちが慈しみのこころをもつてほかの人を愛するために共にいてくださいます。とくに今回のような窮状にあるときこそ、その慈しみのこころが発揮されるはずで、自分のいのちの安全だけを考えるのではなく、他のすべての人々のいのちをこころにかけて、適切な行動をとるようにしましょう。感染した方々に対して決して非難や差別などの言動に走ることをないように注意し、むしろ彼らに寄り添う気持ちを大切にし、回復のために祈りましょう。

4. わたしたちがしなければならない努力
基本的な感染予防策として、次のことが勧められていますので、これらを徹底して実行することが大変重要です。

(1) 石けんによる手洗いや手指消毒用アルコールによる消毒などを丁寧に行う。
「主の祈り」「アヴェ・マリアの祈り」「栄唱」を唱えながら手指を洗う、カトリック的な手指洗いを推奨する5)。

(2) ドアのノブや手すりなどを手で触れ、その手で口や目に触れることで感染する可能性があるといわれているので注意する。

(3) 集団感染を避けるために、次の3つのことが同時に重ならないように注意する。
① 換気が不十分な密閉状態で、② 人が密集してお互いの距離を充分確保せず、③ 近距離で会話や発声が行われる。

(4) バランスのとれた食事と十分な睡眠をとって、免疫力と抵抗力をつける。

2020年4月3日
日本カトリック司教協議会 会長
高見三明大司教（長崎大司教区）
（2020年4月12日改訂）

2019年度第11回運営委員会 議事録

2020年4月5日(日)10:00～11:15

議事録1. は、開催日時は表題のとおりです。議事録3. は出席者名で省略します。

3. 報 告

3.1 4月、5月の予定

4月

5日(日) 受難(枝)の主日 10:00 運営委員会
12日(日) 復活の主日 司祭のみでミサ実施
19日(日) 復活第二主日 ミサ 9:30予定
26日(日) 復活第三主日 ミサ 9:30予定

5月

3日(日) 復活第四主日、ミサ9:30、
子供と母の祝福、予定
ミサ後 運営委員会予
10日(日) 復活第五主日、集会祭儀、
壮年、女性部例会 予定
17日(日) 復活第六主日 ミサ9:30予定
24日(日) 主の昇天 集会祭儀、ミニ大掃除予定
31日(日) 聖霊降臨の主日
合同ミサ10:00 (伊達教会)予定

3.2 その他

3.2 その他

*ザックバランの会

2020年2月16日(日) 10:55～11:55

東室蘭教会ホール 参加者 30人(ライヤ師葬儀の為不在)

- ・聖堂の椅子の減数について ・読書会開催について
- ・8月の平和旬間の取り組みについて
- ・教皇様のメッセージに対しての対応について
- ・事務所の配置換えについて
- ・VHSテープの処分(4月末迄展示し以降処分)・図書の見直し等

3.3 財務報告 2019年度決算報告有、特に問題なし。

4. 議 事:

4.1教会総会について

- ・現時点では、総会は実施できない状態だが、但し資料は作成する(部数は70部発行)
- ・4/13以降の指示が未定なので、指示が新たにあれば、それに従う

4.2聖週間の典礼について

- ・会衆無しの典礼が司祭のみで実施。

4.3受洗者のお祝いについて

- ・十字架を用意。

4.4事務所の整理について

- ・良く利用される方々の考えで、配置換えを検討する。

4.5教会連絡網について(携帯のメールアドレス)

- ・今迄は、地区委員が電話連絡をしていたが、現代社会では、携帯電話持参している人が多いので、各人の携帯メールアドレスを登録して頂き、一度に連絡可能なシステムにしたいので、携帯所持者に協力して頂く。(後日依頼書配布予定)

4.6聖堂の椅子の減数について

ザックバランの会では、2個厳希望(決定機関ではないので再審議)

現状では、大きな問題はないと思われるが、ザックバランの会での希望に従い、2個減とする(外の適当な場所に設置する)

5. 司祭の予定

5. 司祭の予定

5.1 ライヤ師の予定

4/7 (火) 札幌教区2020年 聖香油ミサ 札幌カトリックセンター
4/9 (木) 登別カトリック聖心幼稚園 第61回入園式
4/27 (月) 司祭月例会 札幌カトリックセンター 12:00
4/28 (火) 月例会 札幌カトリックセンター 10:00 司祭評議会 札幌カトリックセンター 13:00
5/17(日) 苫小牧地区連絡協議会 苫小牧教会 14:00
5/25(月) 司祭月例会 札幌カトリックセンター
5/26(火) 顧問会議

5.2 ミサ・祭儀の予定

4/5 ライヤ師 4/12 ライヤ師 4/19 ライヤ師 4/26 集会
5/3 ライヤ師 5/10 集会 5/17 ライヤ師 5/24 集会

2020年公開ミサ中止の中で 聖なる過越しの三日間の主の受難（聖金曜日）に祈る

新型コロナウイルス感染拡大の影響で公開の典礼は行われず、司教と数人の司祭のみで、主の受難の典礼を行い、
新型コロナウイルス感染者のため、典礼に預かれな
い信徒の皆さんのためにお祈りを捧げました。



- 4.体調に不安がある場合、ミサ中にマスクを着用して構いません。また聖書朗読 者や先唱者、侍者にあっても、同様にマスクを着用して構いません。
- 5.司祭や臨時の聖体奉仕者をはじめ、御聖体を手で拝領する方は、必ずミサ前に 十分に手を洗ってください。
- 6.咳や熱がある場合、口(舌)での聖体拝領はご遠慮ください。
- 7 ミサの前にチボリウムの中へ信徒用の小さいホスチアを信徒各自が入れるこ とをしばらく停止する。典礼係など特定の人が奉納の前に概数を入れるようにする。

8 聖体拝領はホスチアのみにして御血の拝領はとりやめる。
また、不特定の方々が接触するドアノブなどの消毒をこまめにするようにしてくだ さい。皆様のご理解とご協力、適切な対応をお願い致します。

<追加の注意事項>

- 1.一般的な衛生対策として、咳エチケットに配慮し、手洗いを心がけましょう。 聖堂や信徒会館の入り口に、手指消毒用のアルコールを設置しましょう。
- 2.体調不良の場合は、無理をせずに、ミサの参加の自粛をお願いします。具体的 には、咳、発熱、呼吸困難ですが、特に、咳や 37.0℃以上の発熱などの風邪症状 がある人は当面の間、ミサに来ることをお控え下さい。なお 2 月 7 日から当面の間、風邪に類似した症状で体調が優れない場合は、主日 のミサに与る義務を免除します。
- 3.2 月 7 日から当面の間、聖堂入り口などに用意された聖水盤は、使用を控えます。